

3. 学習支援のヒント - 学校や教育機関とつながる

特定非営利活動法人ビーンズふくしま

継続的に子どもたちを支援し、居場所を確保していくために、教育委員会や学校とも連携しながらの体制づくりを行ってきました。

被災して全町避難をしている被災自治体の教育委員会(浪江町や富岡町)は、避難してバラバラになってしまった子どもの実態を掴むだけでも大変で、学校の再開を準備し、学校環境を整えることはできたものの、震災後の子どもの個々の問題や居場所のことまでなかなか手が回らない状況でした。

浪江町教育委員会からは、正式に子どもの放課後の見守り体制づくりの協力の要請をいただき、NPO側からも仮設住宅の子ども達の様子は定期的に報告を行っていました。また、支援をしていく上で、学校や教育委員会が持っている情報で必要なものは共有いただくことができました。

また富岡町との連携では、毎月の活動のお知らせやお便りを富岡町ホームページに掲載いただくなどしていただきました。



浪江町教育委員会
大原校長先生(津島小学校)

大原校長先生は、仮設住宅の学習支援の場に何度も足を運んでいただいたり、保護者からの要望にどう応えていけばいいかということなどに、的確なアドバイスをいただきました。



地域のおまわりさんも子どもたちの様子を見守り